

2024年10月14日

大阪大学総長候補者各位

大阪大学総長候補者各位への公開質問書

箕面地区教職員組合

大阪大学総長候補者各位におかれましては、大阪大学のためにご尽力される決意であることに心より感謝申し上げます。

候補者各位のご所見はマイハンドアイで拝読しておりますが、人文学研究科の外国学専攻および日本学専攻応用日本学コース、日本語日本文化教育センターの教職員より構成されております箕面地区教職員組合から、独自の質問をさせていただきたく存じます。所信表明書にも関連箇所はございますが、改めてお答えいただければ幸甚です。

第一に、今般大学からは「特定業務職員」というポストの新設案が示されました。本制度は部局による予算措置とされており、予算の厳しい箕面のような部局でこの制度が実際に運用可能なのかという不安があります。本改正の第一の背景には、年金受給開始年齢の引き上げにあわせた定年延長という国家的な要請があると思いますが、それに対して、64-65歳の労働条件の引き下げという形で対応することには大きな疑問がございます。また、ポストの新設は、有期雇用から無期雇用への転換の可能性の拡大とみることもできますが、有期雇用職員の5年雇い止め自体が、現場の人々を疲弊させる不合理な制度です。したがって、64-65歳雇用や雇い止めを含む人事制度は、今後も全学として検討すべき課題だと思われれます。人事制度や教職員の労働環境の問題において、総長としてどのような取り組みを考えておられるでしょうか。

第二に、各部局の教育・研究環境は、例えば文系・理系や実験系・非実験系等によって大きく異なりますが、箕面には外国語学部、人文学研究科、日本語日本文化教育センターがあります。そこで行われている外国語教育においては人こそが資本であり、非常勤講師は欠くことのできない存在です。大阪大学の中でこうした各部局の固有の状況はどのように考慮されるべきだとお考えでしょうか。また、大阪大学において外国語学部、人文学研究科、日本語日本文化教育センターが果たすべき役割について、何かお考えがあればお聞かせください。

第三に、本組合に届いている個別具体的な課題を、大阪大学総長候補者に是非知っていただきたく、いくつか以下に列挙致します。まず、箕面キャンパスには駐車場・駐輪場がありません。キャンパス周辺の開発が進むにつれて駐車場の確保が難しくなっており、保健センターの看護師や育児・介護で自動車通勤をせざるを得ない教職員にとって大きな問題となっています。また、サバティカルへの大学の補助が廃止され、研究環境がますます厳しくなっているという声があり

ます。その他、雇用期限半年を切ると育児休暇が取れないなど、出産育児に対するバリアが依然として残されていることも明らかとなりました。これらは細かい課題ではありますが、こうした課題に大学として向き合う際の一定の方針ないしはルールをお考えであれば、お聞かせ下さい。

お忙しい中、大変恐縮ではありますが、質問書の趣旨をご理解いただき、10月21日までに以下の質問にご回答くださいますようお願い申し上げます。なお、ご回答いただきました文書は、箕面地区教職員組合のメーリングリスト及びHPにて公開させていただきますので、御了承のほどよろしくお願い致します。

ご回答は、箕面地区教職員組合（union-oum@union-oufs.jp）までお寄せください。